日本キリスト教団 東金教会〔４２〕

2019年10月27日 降誕前第９主日礼拝

年度目標 《キリストに根を下ろして生きる》

聖句 キリストに根を下ろして造り上げられ、教えられた通りの信仰をしっかり守って… コロサイ2章7節

【礼拝式次第】

司式	藤田
奏楽	中村
受付	今井
案内	藤本
名札係	宮中
礼拝感謝祈祷	井上
〃 〃	武田

前奏	中村
讃美歌５９	一同
使徒信条５６６	〃
交読文４１	司・会衆
主の祈り５６４	一同
聖書朗読	藤田

「ガラテヤの信徒への手紙3:7～14」

祈祷	藤田
新聖歌３５５	一同
み言葉の伝え	中村征一郎
〈恵みの流れ〉	
讃美歌５３３	一同
献金	
礼拝感謝	井上
〃 〃	武田
報告	藤田
頌栄５４１	一同
祝祷(派遣)	中村征一郎
後奏 新聖歌５８	聖歌隊

【集会案内】

聖書研究祈祷会 10月30日(水)午後7時半～
早天祈祷会 月～金7時(除祭日)メーヤー館
聖書輪読会 11月3日(日)9:50-10:10
礼拝準備祈祷会 11月3日(日)10:25-10:30
合同バザー 11月2日(土)10:00～

【報告】

☆礼拝後バザー値段付けがございます。お覚え下さい。
☆本日朴牧師は長浦に出張です。
☆１１月２日(土)午前10時より第６７回幼稚園・保育園・東金教会合同バザーです。是非お出かけ下さい。
☆幼・保園入園児募集の願書配布が開始(15日より)されました。ご加祷下さい。
☆バザー献品を受け付けております。ご献品宜しくお願い致します。
☆次次週(11月10日)礼拝後墓前礼拝が持たれる為、次週(11月3日)礼拝後に定期長老会が予定されております。お覚え下さい。

【先週集会状況】

集会名	男	女	計
主日礼拝(10/20)	１３	２８	４１
聖研祈祷会(10/23)	4	2	6
聖書輪読会(10/20)	2	3	5
教会学校(10/20)	5	１１	１６
山田台集会(10/22)	5	5	10

早天祈祷会			
日	男	女	計
10/21	1	1	2
10/22			
10/23	1	1	2
10/24	1	1	2
10/25			

主日礼拝献金(10/２０)……２８,５００円
教会学校献金(10/２０)……５,３５０円

【今日のメッセージ】

題 ［恵みの流れ］
聖書 ガラテヤ書3:7～１４

1・信仰者の生き方

2・恵みの流れの中で

3・信仰を下敷きとして

【次週(１１月３日)礼拝式案内】

み言葉の伝え〈ただ約束によって〉
聖書 ガラテヤ書3:１５～２０
交読文４２
讃美歌６０番 ２７０番 ５２９番
新聖歌３０９番

【分区・支区・教区報告】

○東総分区牧師会 11／12 10：30～
於・九十九里教会
○日本聖書神学校千葉支部集会
11/26 12:00～ 於・長浦教会

【10月27日～11月3日誕生者】

○佐川 姉 ○森川 兄
※互いに主に繋がる枝々として祈り合わせて参りましょう。

【次週(１１月３日)聖餐式当番者】

配餐者……井上・朴
祈祷者……戸波・藤田

【次週(１１月３日)礼拝式当番者】

御言葉の伝え	…中村
司式者	…宮中
奏楽者	…中村
受付者	…津久井
案内者	…梅田
名札当番	…森川
礼拝感謝祈祷	…石丸
〃 〃	…阿波谷
csお話し	…中村
会堂清掃者	…幼稚園教諭
〃 〃	…
花係	…小林
看板書き	…澤本

【聖書から】

「人々がこれらのことに聞き入っているとき、イエスは更に一つのたとえを話された。エルサレムに近づいておられ、それに、人々が神の国はすぐにも現れるものと思っていたからである。」

ルカ福音書一九章一一節

ムナの譬え話の中で、特に三番目の僕の態度に注目してみたいと思います。「御主人様、これがあなたの一ムナです。布に包んでしまっておきました。あなたは預けないものも取り立て、蒔かなかったものも刈り取られる厳しい方なので、恐ろしくて、蒔かなかったのです。」この僕は主人を恐れて何も出来なかったのではないでしょうか。そして主人に面と向かって二一～二二節のように言い述べることも恐ろしすぎて出来ないでしょう。結局、僕のこのようなことばは主人に対する積極的な対抗のように、あなたの不義に決して屈しないと抗っているようにさえ見えるのであります。律法学者や祭司長たち、自分たちこそ神に相応しい義の存在であると律法を振りかざして人を裁き、主イエス・キリストさえ排除し、民衆を煽って十字架刑を叫ばせた彼らの姿をこのたとえ話を通してみることが出来ます。律法を握りしめ、固く守ってきたことを自分たちの義とし、律法を守らせた頑なな態度であります。もちろん、そのたとえ話を聞いていた弟子たちも例外ではありません。エルサレムへ着けばいよいよ新しい王国となり、我こそ栄誉の座に就かせてもらえるだろうと期待しているごすのでしょう。救いの神の業よりも自分の義を握りしめ固執しながら？、ただその時にはすべてに従う私達も過ぎさらけければなりません。どう過ごすのでしょう。真の王として来られるまでの時をイエスさまと拒まれる運命が待っていることをも示してくださいました。彼らに主イエスは、我々の王として頂きたくないと報われるという期待感で？、今この時、主の愛の業に感謝と感動をもって主と共に歩みましょう。

【礼拝心得】

①礼拝は前奏から後奏までを守る。
②入堂したら私語を交さず、前奏までの時を黙想する。
③遅れてきた者は静かに入堂し、特に祈祷の時は入堂を控え、その場で共に祈りを守る。
④礼拝後は互いに挨拶を交し、交わりの時を持つ。
⑤各自週報棚を整理し、欠席者に週報を届ける。